

2023 年 10 月 2 日

報道関係者各位

一般財団法人阪大微生物病研究会
大阪大学微生物病研究所

BIKEN 財団と大阪大学微生物病研究所、「BIKEN ゲノム解析協働研究所」を開設 ～先進ゲノム解析技術の開発とその実用化をめざす～

一般財団法人阪大微生物病研究会（以下、BIKEN 財団、本部：大阪府吹田市、理事長：米田悦啓）と大阪大学微生物病研究所（以下、RIMD、本部：大阪府吹田市、所長：高倉伸幸）は、10 月 1 日、「BIKEN ゲノム解析協働研究所」を開設しました。BIKEN 財団の臨床検査技術と RIMD の遺伝子解析技術の融合により、先進ゲノム解析技術の開発とその実用化をめざします。

背景

BIKEN 財団では、設立以来約 90 年にわたり、臨床検査事業を通じて大阪府の公衆衛生に貢献しています。また新型コロナウイルス流行時には、近隣自治体からの行政検査に対応しました。近年は、新たな先進検査技術の開発や導入、体外診断薬の開発に取り組んでいます。

将来的なパンデミック対応や予防医学への貢献のために、ゲノム解析を含む疫学調査の実施体制強化や、個別化医療に伴うゲノム医療推進への参画は重要な課題です。特に、ゲノム医療においては、さらなる解析技術の開発や、高精度で安定したゲノム解析実施体制の構築が求められています。

めざすもの

BIKEN 財団の臨床検査技術と RIMD のゲノム解析技術の融合で、以下を推進します。

- ① 新規ゲノム解析技術の実用化にむけた研究開発および研究支援
- ② ゲノム医療参画に向けた臨床検査体制の構築

概要

名称	BIKEN ゲノム解析協働研究所
設置期間	2023 年 10 月 1 日～2028 年 3 月 31 日
設置部局	大阪大学微生物病研究所
所長	山崎 晶（大阪大学微生物病研究所 教授）
副所長	川崎 淳（BIKEN 財団 BMS センター長）

以上

一般財団法人阪大微生物病研究会について

BIKEN 財団は、ワクチンの研究・開発と生産・供給を担う、バイオ・スペシャリティー・ファーマです。1934年の設立以来、社会の要請に応え、数多くの日本初となるワクチンの開発、生産、供給を行うとともに、先進的な臨床検査サービスを提供し、公衆衛生に貢献してまいりました。

BIKEN 財団はこれからも「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る。」というミッションの下、病の不安から解放された、すこやかな社会をめざし、高度なサイエンスと独自のバイオ技術の進歩を追求し続けます。

大阪大学微生物病研究所について

大阪大学微生物病研究所は 1934 年の設立以降、微生物病をキーワードに、病原体や感染症、免疫、がんを中心に研究を展開し、生物学分野における基礎研究を牽引してきました。約 90 年の歴史の中で、さまざまな研究者が切磋琢磨しながら傑出した功績をあげています。

2010 年以降は文部科学省共同利用・共同研究拠点として研究所に集結する研究資源を国内外に広く開放、医科学・生命科学分野の研究活性化に広く貢献しています。

❖ 本件に関する問い合わせ先

一般財団法人阪大微生物病研究会 広報室

TEL: 06-6877-4802

E-mail: biken-pr@mail.biken.or.jp

大阪大学微生物病研究所 企画広報推進室

TEL: 06-6879-8357 FAX: 06-6879-8360

E-mail: biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp